

質 問 回 答

2017 年 7 月 10 日

「カンボジア国プノンペン都市鉄道整備事業準備調査」

(公示日:2017 年 6 月 28 日/公示番号:170397)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

番号	当該頁項目	質問	回答
1	4 ページ 3 業務従事予定者の経験、能力等(1) 業務管理グループ及び 11 ページ プロポーザル評価表 業務管理グループ評価配点表	4 ページでは業務管理グループは認めないとなっており、11 ページの評価表には配点が記載されておりますが、業務管理グループは認められないということではよろしかったでしょうか。認められない理由がありましたら、可能な範囲でご教示頂きたくお願いします。(若手加点はないが提案は可能と理解できる為) また、認められない場合、総括のポジションを「総括/都市鉄道」「交通計画」と分割して提案することは可能でしょうか。可能な場合、評価配点はどのようになりますでしょうか。	「業務管理グループを認めない」が正となります。本件の難易度は高い 1 号総括案件と考えられるため、一貫して経験豊富な総括に進捗管理いただきたいとの考えによるものです。 分割提案は可能ですが、その理由を併せて説明願います。評価は、提案の要員計画の妥当性と従事者の経験能力を総合的に評価します。従って、プロポーザル第 3 章における所定の様式が全評価対象者に求められます。
2	4 ページ 3 業務従事予定者の経験、能力等(2) 評価対象業務従事予定者の経験、能力等及び 7 ページ 第 9 プロポーザルの評価 1 プロポーザルの評価基準 1)評価対象とする業務従事者の担当分野の【事業スキ-	7 ページで評価対象とされている、【事業スキーム (PPP スキーム)/経済・財務分析】担当者について 4 ページの評価詳細項目が見当たりませんでした が、ご教示頂きたく願います。	評価項目は次のとおりです。 「【業務従事者：担当分野 事業スキーム (PPP スキーム) / 経済・財務分析】 1) 類似業務の経験：PPPスキームの検討/経済・財務分析に係る各種業務 2) 対象国又は同類似地域：カンボジア 及び全世界での業務の経験

	ム(PPP スキーム)/経済・財務分析】		<p>3) 語学力 (語学は認定書 (写) を添付) : 英語</p> <p>4) 学歴、職歴、取得学位、資格、研修受講実績等 (照査技術者については必要資格の認定書 (写) を必ず添付して下さい。)</p> <p>5) 特記すべき類似業務の経験 (類似職務経験を含む。)</p>
3	4 ページ (3)既往の協力・調査結果を再精査する形での調査の実施	<p>2014M/P での将来需要予測の再精査とありますが、以下2点の資料をご提供いただくことは可能でしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予測モデル(生成減原単位、発生・集中モデル、分布モデル、交通手段分担モデル のモデル式及びパラメータの設定方法) ・OD 表の種類(交通目的別 OD 表、交通手段別 OD 表など) 	<p>現時点で弊機構で保管しているデータは以下の通りです。受注後に各データを共有します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ STRADA data set (2012 , 2035) (.aod .par .INT の各データ) ・HIS データ ・ゾーンデータ(.wmf データ)
	<p>・貴機構ホームページ 公示資料 (PDF) 最終ページ</p> <p>5 想定人月(予定)</p> <p>・指示書 P. 31</p> <p>2. (1) 業務量の目処</p>	<p>貴機構ホームページ掲載の公示資料には、「想定人月:53.62 M/M」と記載されておりますが、指示書では「業務量の目処:57M/M」と記載されております。どちらが正か、ご教示いただけますでしょうか。</p>	<p>本案件は指示書のとおり、57MMを想定しております。併せて公示案の記載も 57MM に修正します。</p>
	<p>指示書 P. 12</p> <p>(9)環境アセスメント報告書案の作成</p> <p>指示書 P. 24</p> <p>(23)環境アセスメント報告書案の作成</p>	<p>本調査期間中に相手国環境省から、環境影響評価報告書の承認を得ることを想定していらっしゃいますでしょうか。</p>	<p>原則として、調査期間中に環境省から環境影響評価報告書の承認を得ることを想定しています。</p>

	<p>指示書 P. 17 (13)サイト状況調査 指示書 P. 32 4. 現地再委託</p>	<p>現地再委託につき、自然条件調査については「その費用は本見積りに含めること」と記載がありますが、それ以外の現地再委託業務の見積りに関しては、言及がございません。本見積、別見積どちらに計上すべきか、ご指示いただけますでしょうか。</p>	<p>自然条件調査以外の再委託費業務に関しても本見積もりに計上してください。従って、p.32「4. 現地再委託」について、説明文に「すべての項目について、その費用は本見積もりに含めること。」と加えます。</p>
	<p>指示書 P. 35 2. (1)地形測量</p>	<p>本調査では地形測量を実施することとなっておりますが、2015年に貴機構で実施した「プノンペン都下水・排水改善プロジェクト」ではプノンペンにおける地形測量を実施したと聞いています。その成果は、本調査の求める精度に耐えうるものでしょうか。もし、本調査で活用可能でしたら、受注後に共有いただけないでしょうか。</p>	<p>「プノンペン都下水・排水改善プロジェクト」においてプノンペン全域を対象とした地形測量を実施しましたが、今回の協力準調査の対象である候補路線周辺を重点的に測量したものではないため、本調査内で改めて地形測量を実施する必要があると想定しています。一方、受注後に測量データは共有します。</p>

以上